

季節のいきもの～気持ちをリフレッシュ、花をもとめて～

臨時休館中(5/31まで)

一年の中で一番自然を満喫できる季節となりました。残念ながら外出自しゅくが続いていますが、センター周辺は例年のように色とりどりの花を咲かせる野草が顔を出しています。

では、センター周辺の野草の花を紹介しします。この時期、目立つ花の色は黄色でしょう。通路を歩いていくと、足下に黄色の小さな花をつけたカタバミを多く見かけます。やや大きめの黄色い花のタンポポも見られます。腰ぐらゐの高さの草たけを持つコウゾリナの黄色の花が可憐に咲き誇っています。また、葉を広げて首を垂れたように咲いているノゲシの黄色の花も素敵です。

ミニ彩湖という池へ歩を進めていくと階段の両側に小さな小さな米つぶぐらゐの黄色の花をいっぱい咲かせているコマツブツメクサの群れが見られます。シロツメクサ（クローバー）と共にワインの箱詰めのクッション材としてヨーロッパから渡って来た植物です。

池の木道の湿地側にまわってみるとトダスゲの元気な姿が目に入ります。去年より株数が増えたようで、池の周囲にたくさん見られるようになりました。生長が遅れているヨシのそばでは、細長い緑色の葉をつけたショウブが今年も見られます。五月の節句、浴槽に浮かべるあのショウブです。ぜひ、このショウブの花を見つけて欲しいです。実は葉の下の淡黄色の包状のものが花です。ミズバショウの花の中心にある包状のものと似ています。さらに、木道の湿地側では淡い紫色のチョウジソウの花が群れとなって咲き誇っています。

センター西側の通路からミニ彩湖へと、クワやエノキの新緑の下での散策で初夏に咲く野草に出会えるのは今だけです。なぜなら、草たけが高くなる植物にまだ被われていない為、足下の小さな花や短期間しか咲かない花が見られるからです。また、去年の台風でセンター周辺は浸水し、野草の生長が遅れているからです。

ここで紹介した野草はごく一部で、他にもたくさんの種類の野草が見られます。

センター周辺は、薫る風と青空のもと、身近で新緑が満喫できること請合いです。なお、彩湖自然学習センターは休館中ですので、再開したらお越し下さい。(W)



カタバミ



コウゾリナ



ノゲシ



コマツブツメクサ



トダスゲ



ショウブ



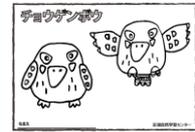
チョウジソウ

おうちミュージアム

彩湖自然学習センターでは、ご自宅で学習する皆さんに※「おうちミュージアム」と名付けた教材をホームページに掲載しています。楽しそうだな～と思ったら、ぜひ家庭学習にご活用ください。

※おうちミュージアム：北海道博物館の企画にみどりパルも加わりました。

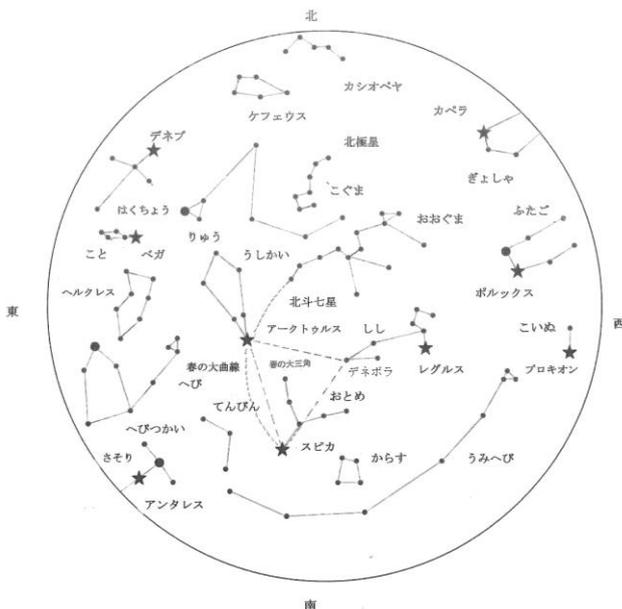
おうちミュージアム「ぬり絵」「昆虫パズル」「植物カルタ」等をみどりパルホームページに掲載しています。今後も追加予定です。詳細はホームページをご確認ください。



新型コロナウイルス対策のため現在講座の開設を行っておりません。今後の講座開設については、ホームページでお知らせします！

5月の星空ガイド

夜の8時頃空には春の星座が勢ぞろいしています。おおぐま座の中にある北斗七星が北の空高く見えます。そこから伸びる大きな曲線は、春の大曲線と呼ばれるうしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカという1等星が探せます。また、この二つの1等星としし座のデネボラという2等星を結ぶと春の大三角が見つかります。天気の良い日にお家の人と探してみてください。



宵の明星

西の空低く金星が見えます。宵の明星と呼ばれるくらい明るいので見つけてみてください。

(写真：2017年1月4日夕方撮影)